

初動期支援コースNo.1

事業名 野村俊幸氏講演会「わが子が不登校で教えてくれたこと」

団体名

いろいろなはぐくみの会

活動報告の概要

自身の2人の子が不登校となった経験を持ち、著書「わが子が不登校で教えてくれたこと」を刊行した野村俊幸氏の講演会を9月9日に開催しました。定員50名に対し不登校の子どもを持つ親・保護者の立場にある方を中心に87名もの参加があり、地域で孤立しがちな人の情報共有・ネットワークの足がかりをつくることができました。また、学校教育関係者の参加もあり、不登校の受容的理解に向けての情報提供の場となりました。事後のアンケート調査においても講演内容に対して大変良かったとの回答が9割を占め、非常に好評であったほか、講演会の場で「不登校を受けとめる親の会」発足を呼びかけたところ、11名の参加がありました。今後も親の会を毎月1回開催し、不登校に対する受容的な理解へつなげていきたいと思えます。

今後の課題としては、当事者への支援を実りあるものにするためには、当事者の周囲の方々の理解を求めることが不可欠であると感じており、今年度は青森県の協議会から委託を受けたモデル事業として、地域住民の方々に不登校について理解を広めるためにフォーラムの開催を予定しています。このフォーラムは、同じ奨励金事業として、はちのへ子ども劇場のネットワーク事業への参加をきっかけとして開催につながったものであり、市民奨励金制度から多くのサ

ポートをいただけたことに感謝します。

(活動の様子)

